


「何気ない近況報告」も大切に 同じ歩調で未来へ向かう税理士

 小林基弘税理士事務所

〒179-0075
東京都練馬区高松 3-2-17 304
TEL 080-5696-9271 / FAX 03-3577-2290
URL <http://cpta-office.jp>

Company data

税理士 / 公認内部監査人 (CIA)

小林 基弘

長野県に生まれ、父親の転勤で東京に移り住む。2005年に税理士登録、その4年後には公認内部監査人認定試験合格。前職の会計事務所では、税務のほかIPO（株式公開支援）をメインに経験を積み、2010年に「小林基弘税理士事務所」を開業した。



千葉 税理士を目指そうと思われたきっかけを教えてくださいませんか？

小林 はじめは公認会計士になりたいと漠然と考えていました。ただ、将来の進路を決める時期に色々と調べていくうち、会社と株主の間に入って監査を行う会計士よりもクライアントに寄り添ってお話させて頂ける税理士の職が、自分に合っていると思うようになったのです。
千葉 そして、結果として税理士に選ばれたと。

小林 対立しながら物事を進めるのは私の望むところではなく、個人・法人を問わず“同じ立ち位置”で仕事がしたい。そのとき選んだ道は、今となっては正しかったと思います。仕事は楽しく、大きなやりがいも感じられているんです。

千葉 役者になって長いですが、お金のことに分らないことがあればすぐ税理士に相談していました。そうすることで本業にも専念できるものです。

小林 そうですね。何かが起こってから相談に来られるよりも、事前に相談して頂けると対策が立てやすいです。そこで、経営者の方には会社全体の動きを把握して頂くために、当事務所では毎月、“月次レポート”を提出しています。

千葉 客観的なデータを随時確認できれば、次の戦略も立てやすくなりますね。

小林 ええ、クライアントとのコミュニケーションが図れるという意味で、毎月の財務諸表の提出は私の中でも重要な役割を担っていると考えています。定期的なお付き合いをする中で、会社のビジョンなども伺い、その都度アドバイスや適切な判断をしていきたいですね。



千葉 何でも言い合える関係性を築くことも税理士にとっては重要ですね。

小林 経営者様は日々、事業存続のために様々な決断を強いられています。その中で不安がつきまとうのも当然のことだと思います。それはある意味で、私も同じです。時には私の個人的なお話もさせて頂きながら、疑問や不安などを少しでも和らげて差し上げたいのです。

千葉 まさにクライアントの“戦略参謀”。きっとクライアントも安心してお任せできると思います。

小林 ありがとうございます。経営者の方にとって事業は夢や思いを形にしたもの、そして財務諸表はそのために活動してきたこと、成し遂げたことを数値化したものです。今後も夢や思いをしっかりと形にして頂けるよう数字の面から後押しすべく、精一杯サポートしてまいります。

Guest Comment

千葉 真一（アクションスター）

対談では、私の経験も交えながら税務に関する様々なお話やアドバイスを伺うことができました。小林所長は経営者に寄り添うことで、正しき道へと熱心に導いてくれる方。クライアントにとっても、非常に相談しやすい参謀のような存在として映っていることでしょうか。

